

かたの 市議会だより



平成24年
11 / 1

議会ニュース

市議会の新しい体制がスタート

議長に黒田議員、副議長に前波議員、監査委員に友井議員



整備工事（ソーラーパネルを備えたプレハブ
庁舎設置等）を予定している別館庁舎



就任のごあいさつ

議長 黒田 実

この9月議会において、第42代交野市議会議長に就任いたしました。浅学菲才ではありますが、市民に開かれた議会、市民に信頼される議会、そして、活気ある議会にむけて全力で取り組んで参ります。

目次

- 2 議会ニュース
- 3-7 一般質問
- 4-7 委員会審査のあらまし
- 8 議会で決めたこと

編集＝広報委員会 発行＝交野市議会

議会新役員を選出 市議会の新しい体制がスタート

議長に黒田実議員（市民かがやきクラブ）、副議長に前波艶子議員（交星みんなクラブ）
監査委員（議会選出）に友井健二議員（公明党）が就任

本会議の動き

第3回議会定例会

今議会は、9月6日から10月2日の27日間を会期として開かれました。

初日の議長選挙を皮切りに、副議長、監査委員（議会選出）、議会運営委員会委員の選出を行いました。

7日に常任委員会委員、派遣議員などを選出し、新体制（下表）での運営がスタートしました。その後、本格的な議案審議が始まり、まず3件の報告を受けた後、1件の専決処分を承認しました。そして、3件の人事案件に同意し、2議案を満場一致で可決しました。

また、平成23年度の一般会計他5特別会計の決算の審査のため、決算特別委員会が設置され、審査を付託

することに決めました。その他、「交野市災害対策基金条例の制定について」他2議案を総務文教常任委員会に、「平成23年度交野市水道事業会計決算認定について」他2議案を都市環境福祉常任委員会に付託しました。26日・28日には、市政全般に対する一般質問を行いました。

最終日10月2日は、決算特別委員会及び2常任委員会から付託案件の審査報告が行われ、各決算を閉会中に継続審査することとなり、「和解について」他議案は満場一致で可決しました。最後に意見書4本中3本を可決した後、「議員の派遣について」を決定し、今議会は閉会しました。（会議結果は最終ページをごらんください。）

■議会役員と各委員会委員 ◎…委員長 ○…副委員長

議 長：黒田実	副議長：前波艶子	監査委員（議会選出）：友井健二
議会運営委員会	◎三浦美代子・○片岡弘子・皿海ふみ・野口陽輔・兼田龍洋	
総務文教常任委員会	◎新雅人・○兼田龍洋・中上さち子・片岡弘子・久保田哲・野口陽輔・前波艶子・友井健二	
都市環境福祉常任委員会	◎皿海ふみ・○松本直高・坂野光雄・浅田耕一・三浦美代子・坂本顕・黒田実	

■議会選出の派遣議員・委員

四條畷市交野市清掃施設組合議会議員	中上さち子・松本直高・久保田哲・野口陽輔・浅田耕一・新雅人
北河内4市リサイクル施設組合議会議員	坂野光雄・三浦美代子
交野市農業委員会委員	皿海ふみ
東部大阪治水対策促進議会協議会委員	片岡弘子・兼田龍洋・坂本顕
片町線複線化促進期成同盟会委員	片岡弘子・新雅人
交野市山地対策協議会委員	中上さち子・坂野光雄・久保田哲・浅田耕一・兼田龍洋・友井健二・黒田実
淀川左岸流域下水道整備促進期成同盟会委員	皿海ふみ・松本直高・三浦美代子・坂本顕
交野市都市計画審議会委員	坂野光雄・松本直高・野口陽輔・前波艶子・三浦美代子
交野市基本構想審議会委員	中上さち子・片岡弘子・野口陽輔・浅田耕一・友井健二

公明党

新 雅人・友井 健二
三浦美代子

教育行政について

ほか

問 昨今、社会問題化しているいじめについて市はどのように認識し、取り組んでいるか。

答 早期発見、早期対応に努め、万が一いじめが認知された時にはいじめられていた子供の心のケアを最優先し、学校、保護者と一体となってスピード感を持って対応する。

問 小中学校の特別教室へのエアコン設置について市の考えは。

答 重要な課題と考えているものの課題となっている事業の優先順位を考慮しながら取り組んでまいりたい。

安全・安心のまちづくりについて

浸水対策について



8月14日の豪雨により浸水した天野が原町1丁目

問 八月の集中豪雨に対する対策の課題及び今後の浸水対策は。

答 過去にない規模の災害である今回の経験で具体的な課題について検証するとともに、今後に向けて適切な対策を検討していききたい。

問 今後の災害における、ごみ処理、消毒作業の対応は。

答 今後は迅速かつ的確な市民への情報提供と平常時から災害に対する事前のお知らせ等を含めて改善を図っていききたい。

問 災害時等における備蓄品（土のうも含む）の分散化について。

答 中学校区の避難所が適当ではないかということで教育委員会との調整を含め検討し、来年度あたり実現できればと考えている。

要望 雨水の流出抑制として、雨水の貯留・浸水対策を。

福祉行政について

生活保護について

問 最近のニュースになっている生活保護費の不正受給対策について市は。

答 受給者の生活実態や世帯の収入等の把握。就労支援の強化、医療機関の過剰診療防止に努めている。

要望 担当課への適正な人員の配置を。

子育て支援について

問 2010年の税制改正で年少扶養控除の廃止で私立幼稚園就園奨励費補助において、大きな混乱が生じている。その内容は第3子以降の控除が見込まれていない分、市として救済するよう検討をして頂きたいが。

答 制度改正の趣旨をふまえ、検討しているところである。

問 不利益をこうむる世帯がないよう、検討をお願いする。また公立幼稚園の預かり保育について。ぜひとも実施をと要望してきたが、その進捗は。

答 11月と12月の2ヶ月間、預かり保育の試行を考えている。その後全保護者にアンケートを実施し、具体を検討したい。

その他の質問

①防災会議に女性の登用を
②活力あふれるまちづくり（マルシェについて）

水道事業について

会派無所属 坂本 顕

問 大阪広域水道企業団と大阪市水道局の統合協議で、橋下市長の自己水を持つている市町村は全て企業団に差し出し「府域一水道」を前提に進めたいとの発言で、各市町村と歩調が合っていない。市としての件をどう考えるか。

答 自己水と企業団水の複数水源化を進めてきた交野市では、9月に星の里浄水場が稼動し、よりおいしい水を給水できるようになった。自己水を持っているところは全て企業団に差し出すという意見が出たが「府域一水道」を拙速に進めることに断固反対する。課題の解決が図られた上で目指していくのであれば議論に加わりたい。

その他の質問

8月14日の豪雨の被害状況と今後の対策について。

日本共産党

皿海 ふみ・中上さち子
坂野 光雄

浸水被害の対策を

ほか

問 8月14日の集中豪雨は、交野で過去最高の100ミリを超える時間雨量となった。被害状況は。

答 床上浸水51件、床下浸水161件、河川護岸崩壊6か所、各地での冠水等、多くの被害が発生した。

問 床上浸水は特に郡津・私部地域に多い。平成20年にも被害が出た。対策は。

答 昨年度から5ヵ年計画で浸水対策を実施してきた。今回の豪雨を対象とすれば、対策の考え方から検討しなおす必要があると考えている。

問 「第2京阪道路と私部西線交差部」「京阪電車と府道交野久御山線交差部」の冠水対策は。

答 全体としての対策を検討したい。

問 前川は京阪電車交差部



8月14日の豪雨により冠水した私部西線

で鉄橋の橋台で狭くなっている。今回、京阪電車上流部であふれた。対策は。

答 京阪電車と協議していきたい。

問 交野小学校の冠水の原因と対策は。

答 雨水が集中した水源範囲の詳細もまだ不明であり、検討したい。

要望 今後、浸水対策として、調整池や貯留槽の整備、農地の保全にも取り組み、安全なまちをつくる

め、思い切った財源の投入と人材の確保を求める。

新学校給食センター

アレルギー対応の充実を

問 新給食センター建設の現在の状況は。

答 平成27年度の完成をめざし、9月末に基本設計の入札を予定している。

問 現在の献立内容で、改善すべき課題は。

答 調理器具の関係から、一部レトルトを使用しているが、新センターでは新しい厨房機器を導入し、レトルトの使用はなくしていく。副食を2品から3品に増やすことも検討する。

問 アレルギー対応についての考えは。

答 卵・乳製品・小麦の3大アレルゲンは、順次に除去食の対応ができればと考えている。

要望 部分的な代替食も検討いただきたい。

問 新センターでの生ごみの堆肥化についてどう考えているか。

答 残滓の堆肥化に積極的に取り組んでいきたい。

高齢者・障がい者の外出

支援「有償移送サービス」

事業の改善を要望

問 ①利用対象が「一人で外出が困難な人」と限られるため障がい者手帳保持でも利用できない人がいる

答 ①障がいの等級でなく心身状況等で判断している。また、療育・精神障がい者への利用拡大は検討課題である。②車2台で公平に行なえるサービスク数が月2回までと考える。③利用者の安全を考え介助者同乗を条件としている。

要望 社協独自事業のため限りがある。市は財政を含めた支援を行なうべき。

その他の質問

特別教室へのエアコン設置について。

委員会審査のあらまし

総務文教常任委員会

（9月14日）

交野市災害対策基金条例の制定など2議案を可決

議案第55号 交野市災害対策基金条例の制定

概要 大規模災害が発生した際の復興対策を円滑に推進するとともに、他

地域への支援活動等に資するため、定めるもの。

主な質問

問 どのような災害などに基金を運用するのか。

答 風水害、南海トラフ地震を含めた災害などあらゆる災害を想定している。本年8月14日の豪雨についても本条例が制定されていれば、対象となるものと考えている。

結果 可決（満場一致）

議案第58号 財産の処分

概要 天野川清掃工場跡地を交野病院（社会医療法人信愛会）に売却しよ

自由民主党

松本 直高
片岡 弘子

福祉行政について

ほか

問 認知症の高齢者や障がい者の権利擁護に対する取り組みについて。

答 ますますニーズが高まっており、新制度への対応に取組みます。

問 必須事業となった成年後見制度利用支援事業への対応について。

答 必要な方が円滑にご利用できますよう、対象者を市長申立ケースに限定せず、拡大する方向で要綱改正の作業中です。

要望 本市での成年後見制度の利用は低調なままである。市民にとって「成年後見」という言葉そのものが馴染みにくく、引続き、制度周知に力を注ぐとともに、より利用しやすい制度となるよう更なる取組みを求める。



犬のフン放置に対する禁止啓発看板

美しい住環境整備について

問 市の管理する道路などの公の施設でのフンの放置に対する責任について。

答 公共の場所を清潔に保つ努力義務が課されています。また、被害について、管理に瑕疵があったと判断された場合、賠償の責を負うものと考えております。

意見 根拠に大きな疑義があり、まちの美化に特化し

たルールづくりが不可避である。美化をお願いしている地域や住民が困っている現状、当然に、その解決に向け、ご協力を戴いている皆様がいやな想いをされることの無いよう最大限の努力をもって対応すべきである。

安心・安全なまちづくりについて

問 8月14日の豪雨災害により、交野市内で床上浸水、道路の陥没などの被害がありました。市の初動体制は。

答 関係者職員は、警報発令に伴い自動参集となり市民からの電話対応、災害対応にあたりました。

問 今回の災害でさまざまな問題を教訓として、どのように生かしていこうとしているのか。

答 今回の災害対応の経験を踏まえ、関係者部署で具体的な対応の検討を行っているところ。

要望 市民の安心・安全のため突然襲ってくるゲリラ豪雨などを想定した緊急対応の体制づくりを進めていただきたい。

地域活性化について

問 今年もグルメコンテストを実施されますが、グルメコンテストの目的は何か。

答 隠れた名店を発掘していただく機会の創出として、実施され、市内の飲食店の利用者が増え、地域活性化につながる事を期待しています。

公共施設の利用について

問 別館耐震工事。別館の耐震工事後の活用方法について教えてください。

答 耐震工事に伴い、一部の部門をプレハブ庁舎へ移動することにより、空スペースが出来る場合には、市民活動の場にする等のスペースとしても検討していきたい。

うとするもの。

▼主な質問

問 なぜ交野病院と随意契約をすることとしたのか。

答 交野病院から「産婦人科の新設」などを含め移転新築する提案があり、市の医療行政の課題解決、充実、また、市民の利益の増進につながると判断し、随意契約により仮契約を行うに至った。

結果 可決（満場一致）

議案第59号 平成24年度交野市一般会計補正予算（第3号）

概要 別館耐震補強工事に伴う別館庁舎整備工事及び地域支え合い体制作り事業等にかかる補正。

▼主な質問

問 別館庁舎整備工事に伴い別館横に建てるプレハブ平屋建て庁舎及び別館前仮駐車場は、耐震補強工事等が終了した際、現状回復するのか。

交星みんな クラブ

浅田 耕一・前波 艶子
兼田 龍洋

星田北地域のまちづくりについて ほか

問 星田北地区は、良好な農空間が広がっており、その利活用については土地所有者の方をはじめ様々な意見が出されている。それらの意見を踏まえ、現在、「土地地区画整理事業」という手法を活用したまちづくりが検討されているが、進捗状況は。

答 これまで星田北地区は茄子作・高田地区と連携し、立地特性を活かしたまちづくりに向け調査、研究を行ってきたところであるが、本年5月に「星田北・高田地区土地地区画整理事業検討会」を新たに設立し、本格的に事業化に向けた検討段階に進んでいる。これを受け、市としても、引き続き技術的な支援を行うとともに、事業予算の確保と

交野市学習到達度調査の結果について

いった財源的な支援も行っていきたい。

問 先ごろ、交野市学習到達度調査が実施されたところであるが、教育委員会として、その結果をどのように分析しているのか。

答 この交野市学習到達度調査は、学習の到達度といった教科に関する調査だけでなく、生活習慣に係る調査も同時に実施している。まず、教科に関する調査結果においては、依然、課題は残るものの、この3年間の中でも正答率が最も高い結果となっており、学習到達度は年々向上している。また、生活習慣に係る調査結果においても、規範

意識や自学自習力が向上していることが読み取れ、これらの結果により、学校における学力向上方策の成果も当然ながら、家庭の理解と協力が不可欠であり、今後もこの調査結果を踏まえて継続した取り組みを実施したい。

いきものふれあいセンターについて

問 いきものふれあいセンターの管理運営については、どのようなようになっているのか。

答 同施設の管理については、現在、非常勤職員並びにアルバイトの2名体制により、施設の維持改修は当然のこと、交野いきものふれあいの里全体を準備範囲として、ハイキング道の軽微な改修作業等も含め、維持管理を行っている。なお、運営経費については、人件費をはじめ、光熱水費、事務経費、土地の借り上げ料など、すべて合わせ

て年間500万円弱となっている。

問 自然観察の拠点或いは環境学習の場に最も適した施設として、現在この施設の活用は図られているのか。

答 いきものふれあいセンターは、様々な生き物の命の営みに触れ、自然の素晴らしさや大切さを学ぶ施設として平成4年5月に開設したものであり、現在、施設利用者は、年間10,000人程度となっている。市としても、体験型の講座や、ミニ観察会の実施、更にはホームページ等で広報に努めるなど、利用者が増加するようその取り組みを進めている。



いきものふれあいセンター

答 別館にエレベーターを設置することにより、執務スペースが減少するため、工事終了後もプレハブ平屋建て庁舎は、撤去しない。また、駐車スペースも減少することから、仮駐車場も、存続させる予定である。

▼結果 可決（満場一致）

都市環境福祉常任委員会

（9月14日）

平成23年度交野市水道事業会計決算を認定他2議案を可決

議案第54号 平成23年度交野市水道事業会計決算認定

▼概要 総収益13億9667万円・総費用13億301万円・純利益9366万円。

▼主な質問

問 水道料金が、府内の他市と比べ高いが、その原因は。

答 一般世帯の水道の月使用量の平均での水道料金

市民かがやき クラブ

久保田 哲・野口 陽輔
黒田 実

活力ある都市計画について

ほか

警察学校の跡地の今後の利用について

問 現在どのようなスケジュールで進んでいくのか。

答 大阪府では、平成25年3月閉校、4月以降解体、10月に更地の状態にする計画をしている。また、平成25年度中に入札方法を決定するように伺っている。

問 新たなまちづくりとして、どのような要望をして

きたのか。

答 跡地利用については、周辺環境が悪化することのないように大阪府に要望している。

また、地域用途の関係上、用途教育機関と良質な住宅地を最優先として、大阪府に要望している。

要望 税収の観点や、防災、産業活性化などの視点も大切ではあるが、ここでは、地球環境の観点から、現在、他の市町村も様々な形で取り組んでいるスマートタウンを誘致し、交野のブランドを向上させるという意味において、取り組んで頂きたい。

福祉行政について

高齢者、障がい者の避難所について

問 災害時、避難所での生活に支障を来す要援護者を守る福祉避難所の取り組み状況について伺う。

答 ゆうゆうセンターを福祉避難所と想定しつつ、民間の福祉施設の協力を頂きながら、福祉避難所の指定に向けて、協定書やマニュアルの作成を検討している。

問 一般的な避難所と福祉避難所のイメージの違いは。

答 災害時、障がい者や妊婦、障がい者などの要援護者が、小学校などの一般的な避難所での生活に支障を来す場合において、一定の設備や安全性のある福祉避難所が開設されるもので、災害発生当初から開設されるものではありません。

ただし、重篤な身体状況や、常に介護が必要な方については、高齢者施設や、障がい者施設への専門施設への搬送になります。

難所と専門的なケアを行う施設との中間的な位置づけになると考えています。

問 民間の福祉施設への協力を依頼するということがありますか。

答 福祉施設への避難や緊急入院については、緊急入所が可能な施設や協力頂ける施設を事前に把握、整理するとともに、災害時の避難、緊急入所について協定書を締結するものです。また、避難者の受け入れが民間福祉施設に過度な負担にならないように、平時から連携を図っていく。

問 災害はいつ来るかわからない。いつごろ締結をお考えなのか。

答 福祉施設との調整を行い、できるだけ速やかに協定書を結べるように努めていく。

その他の質問

- ・いじめ対策について
- ・都市型水害対策について
- ・広報誌のあり方について

については、22年3月末現在、府内33市のうち、12位から13位くらいとなり、一概に高いものとは考えていない。なお、水道料金の地域の格差の原因は、地域の環境によっても影響されるので、一概には言えない。

結果 認定（満場一致）

議案第60号 平成24年度交野市下水道事業特別会計補正予算（第2号）

概要 一般会計繰入金2億4000万円を増額するとともに、その他雑入を同額減額するもの。

結果 可決（満場一致）

議案第61号 平成24年度交野市介護保険特別会計補正予算（第2号）

概要 介護予防事業及び認知症対策による重度化予防事業委託料にかかる補正。

結果 可決（満場一致）

平成24年第3回議会定例会（9月6日～10月2日）

案 件 名		本会議結果
選1号	交野市議会議長の選挙について	当選
選2号	交野市議会副議長の選挙について	当選
議62号	監査委員の選任について	同意
	交野市議会運営委員会委員の選任について	選任
	交野市議会常任委員会委員の選任について	選任
選3号	北河内4市リサイクル施設組合議会議員の選挙について	当選
選4号	四條畷市交野市清掃施設組合議会議員の選挙について	当選
	交野市農業委員会委員の推薦について	推薦
	議会選出の派遣委員の選任について	選任
	議席の指定について	決定
報11号	平成23年度交野市健全化判断比率の報告について	報告
報12号	平成23年度交野市下水道事業特別会計資金不足比率の報告について	報告
報13号	平成23年度交野市水道事業会計資金不足比率の報告について	報告
議44号	専決処分事項報告について（平成24年度交野市一般会計補正予算（第2号））	承認◎
議45号	教育委員会委員の任命について	同意◎
議46号	教育委員会委員の任命について	同意◎
議47号	固定資産評価審査委員会委員の選任について	同意◎
議員14号	決算特別委員会の設置について	可決◎
議48号	平成23年度交野市一般会計歳入歳出決算認定について	継続
議49号	平成23年度交野市国民健康保険特別会計歳入歳出決算認定について	継続
議50号	平成23年度交野市下水道事業特別会計歳入歳出決算認定について	継続
議51号	平成23年度交野市介護保険特別会計歳入歳出決算認定について	継続
議52号	平成23年度交野市公共用地先行取得事業特別会計歳入歳出決算認定について	継続
議53号	平成23年度交野市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定について	継続
議54号	平成23年度交野市水道事業会計決算認定について	認定◎
議55号	交野市災害対策基金条例の制定について	可決◎
議56号	交野市税条例の一部を改正する条例について	可決◎
議57号	交野市火災予防条例の一部を改正する条例について	可決◎
議58号	財産の処分について	可決◎
議59号	平成24年度交野市一般会計補正予算（第3号）について	可決◎
議60号	平成24年度交野市下水道事業特別会計補正予算（第2号）について	可決◎
議61号	平成24年度交野市介護保険特別会計補正予算（第2号）について	可決◎
議63号	和解について	可決◎
議員15号	地球温暖化対策に関する「地方財源を確保・充実する仕組み」の構築を求める意見書の提出について	可決◎
議員16号	自治体における防災・減災のための事業に対する国の財政支援を求める意見書の提出について	可決◎
議員17号	消費税増税の実施中止を求める意見書の提出について	否決
議員18号	「脱法ドラッグ」とりわけ「脱法ハーブ」に対する早急な規制強化等を求める意見書の提出について	可決○
	議員の派遣について	決定

※選は選挙、議は議案、報は報告、議員は議員提出議案です。本会議結果の◎は満場一致、○は賛成多数です。

議会の傍聴にお越しく下さい
～平成24年第4回議会定例会の予定～

12月3日（月） 本会議
12月17日（月）～19日（水） 本会議（一般質問）
12月25日（火） 本会議（委員長報告・採決）